

経営比較分析表（令和5年度決算）

岐阜県 揖斐川町

業務名	業種・事業名	管理者の情報	自己資本構成比率（％）
法非適用	電気事業	非設置	該当数値なし
水力発電所数	ごみ発電所数	風力発電所数	太陽光発電所数
4	-	-	-
その他発電所数	料金契約終了年月日	FIT・FIP適用終了年月日	電力小売事業実施の有無
-	令和19年4月4日 下辻南清流発電所	令和19年4月4日 下辻南清流発電所	無
売電先	地産地消の見える化率（％）※1		
中部電力ミライズ(株)、中部電力パワーグリッド(株)	-		

※1 行政区域内の需要家に小売されたことが客観的に明らかであるものを計上。なお、この基本情報をもって全ての地産地消エネルギーへの取り組みを評価するものではない。

年間発電電力量（MWh）	R01	R02	R03	R04	R05
水力発電	1,018	1,133	1,252	1,260	1,230
ごみ発電	-	-	-	-	-
風力発電	-	-	-	-	-
太陽光発電	-	-	-	-	-
合計	1,018	1,133	1,252	1,260	1,230

	FIT・FIP以外	FIT・FIP	合計
年間電灯電力料収入（千円）	-	41,812	41,812

剰余金の使途について（具体的な使用実績事業を記入してください）	
基金への積立の有無…有	
目的：小水力発電事業基金への組入れ	18,800千円
一般会計への繰出しの有無…無	
その他の有無…有	
目的：農業集落排水事業特別会計への繰出し	9,077千円
電気事業により出た利益は、将来的な施設更新等に活用するための小水力発電事業基金へ積立を主に行っている。積立後、農業集落排水事業特別会計へ繰出し、電気料等に活用することとしている。今後も事業に必要な財源を確保しつつ、地域還元を行う方針としている。	

分析欄

1. 経営の状況について
収益的収支比率は100%を超えており、総収入によって総費用を賅えているため、経営の健全性は保たれている。
営業収支比率についても、収益的収支比率と同じく100%以上を維持できており、今後の運営経費などへ充てるための積立や他会計への繰出も行っている。販売電力量1MWhあたりにかかる費用を表す供給原価や収益性を表すEBITDAは、1施設で発電ができなかった期間があったことにより、それぞれ増加、減少しているが、経営に支障は出ていない。

1. 経営の状況

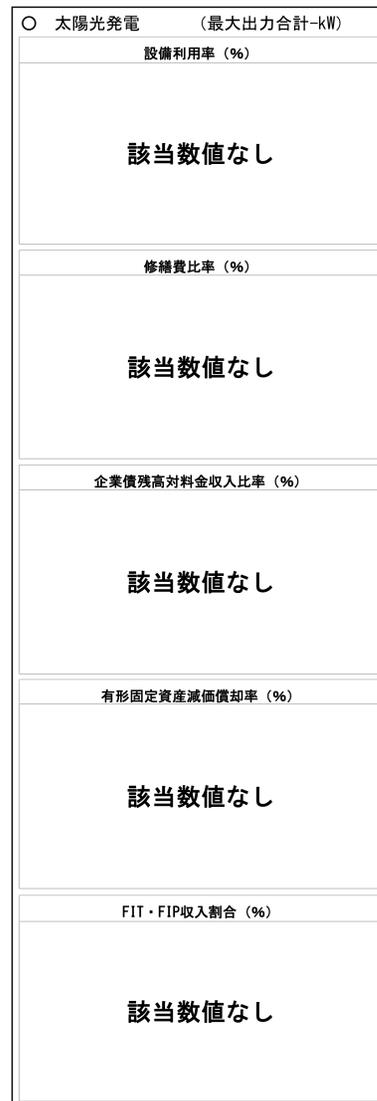
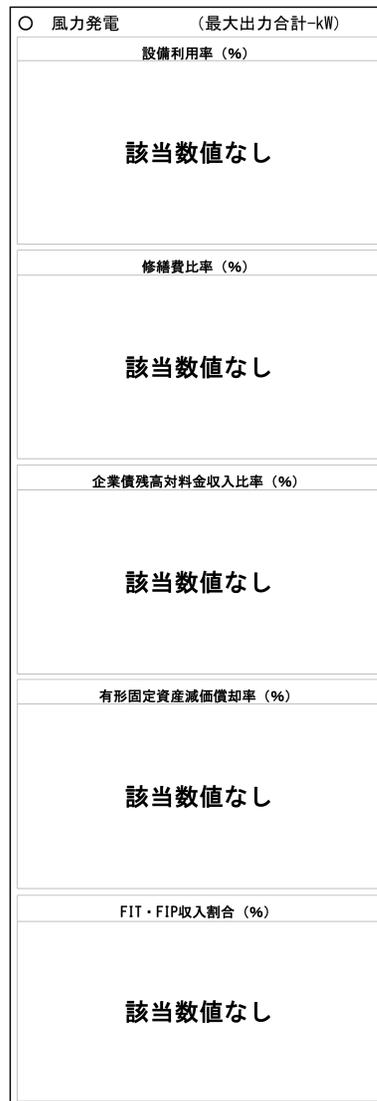
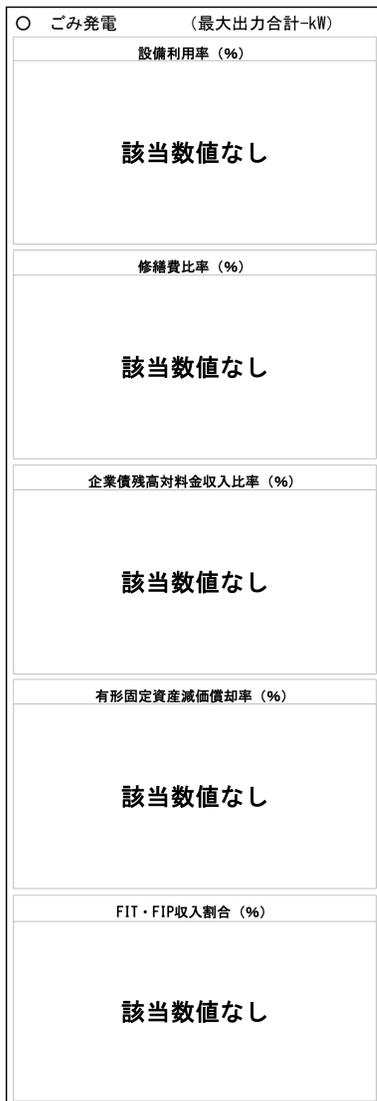


2. 経営のリスク

●施設全体



●発電型式別



2. 経営のリスクについて

設備利用率については、昨年度と比べて微減しており、発電形式別でみるとまだ低い数値となっている。水量、天候等に左右されるが、利用率を少しでも上昇できるように改善に努める。
企業債残高対料金収入比率については、企業債が無いため数値が「0」となっている。FIT収入割合は100で、4施設すべての売電を固定買取価格で行っている。

全体総括

経営的には収益的収支比率も100%以上を続けており、積立や他会計への繰出も継続しながら、健全性を保っている。
施設のメンテナンスが引き続きあり、必要経費も上昇していくことが考えられるため、積立金を計画的に行っていく。
FIT収入割合が100%のため、固定買取価格期間終了後の手法を考えていく必要がある。また経営戦略「揖斐川町電気事業経営戦略」に基づきながら、計画的な経営に努めていく。

※ 令和1年度から令和5年度における各指標の全国平均値は、当時の団体数を基に算出していますが、設備利用率及び修繕費比率、企業債残高対料金収入比率、FIT・FIP収入割合については、令和5年度の団体数を基に平均値を算出しています。